

Sullana

ペルー北部から



Vol. 1

冬でも半袖、スジャーナでの日常

青年海外協力隊 藤澤亮

▼ 自己紹介

初めまして。横浜市出身の藤澤亮（ふじさわりょう）と申します。今年の7月に出国し、現在南米ペルー北部に所在するスジャーナという町に住んでいます。青年海外協力隊としての仕事は、環境教育の拡充です。スジャーナ郡役所に勤めており、現地の学校を訪れゴミの分別等に関する授業を行っています。

▼ ペルーの気候

現在、ペルーは冬です。8月は真冬で、9月に入って少しずつ暖かくなります。私は7月から8月にかけてペルーの首都、リマに住んでいます。出国前、ペルーと聞くとトロピカルな気候を想像していましたが、リマの冬はとても寒いのです。海からくる湿った空気により、大抵の日はどんよりとした曇天です。たまに出る太陽に感動します。

一方で、スジャーナは冬などどこ吹く風で、半袖の毎日を送っています。町を歩くと上半身裸のおじさんの気候が人々の気質にも大きく影響しているように思います。

▼ スジャーナでの交流



写真①：ここがホットスポット

休日、スジャーナでは歩道に椅子を出してビールを飲んでいる人々の姿をよく目にします（写真①）。しばしば大音量のクンビア（音楽のジャンル）を流して踊っています。そんな人たちは通りがかった私に陽気に声をかけてきます。「君はアジア人かい？」「私は日本人です。」そう答えると、「ペルーはどうだ？ペルー料理は好きか？」とよく聞かれます。声が大きく怒っているようにも聞こえる時がありますが、笑顔なのが特徴です。



写真②：市街地の公園と教会

また、この地域には、一筋の川が流れています。市街地にある公園（写真②）から見える川の景色（写真③）は素晴らしく、休日はいつも立ち寄ります。公園でも大抵誰かに話しかけられるので、「自然が豊かで良い場所だね」と言うと「そうかな？」と不思議そうにします。よそ者として、スジャーナの日常の風景の素晴らしさを外の視点から発信していきたいと思っています。これぞ異文化交流の魅力ではないでしょうか。

今後ペルー北部特有の習慣等に会い次第、発信していきたいと思っています。



写真③：公園から望むチラ川